

議題・報告提案書

第 36 回佐潟周辺自然環境保全連絡協議会において、以下の議題を提案します。

団体名	NPO 法人 新潟水辺の会
提案内容	議 題
提案内容の題目	佐潟周辺で生業をしている方を協議会委員に
提案内容の説明	<p>2023 年 2 月 5 日のラムサール条約湿地自治体認証記念シンポジウムでは、パネラーからの活発なご意見がでるなど盛況でお慶び申し上げます。</p> <p>1996 年に佐潟が「ラムサール条約」に登録されてから 27 年目を迎え、当時から較べ佐潟、御手洗潟の水質環境を始めとする環境悪化が顕著になり、大量のアオコが近年毎年発生していることはご存知の通りです。</p> <p>ラムサール条約湿地自治体認証の要件にある水質も、新潟市の河川水質が最も悪い「ドブ川と呼ばれた通船川」より COD などが、数倍高い状態にあります。</p> <p>それらの主原因は、これまでも多くの報告書等で指摘されている（佐潟周辺自然環境保全計画 第 3 章 佐潟の水質）、潟周辺の農地からの環境負荷等が、じわじわと佐潟の環境悪化に及んでいる結果です。</p>
解決に向けた提案	<p>現在農業協同組合の方が委員になって居られますが更にこの協議会委員に、地元で生業をしている方（例：葉たばこ農家、葉物野菜栽培者、漬物工場、ハーブ園経営者）などの、利害関係者の方にもっと入っていただく。</p> <p>その上で、ラムサール条約湿地自治体認証の「佐潟ブランド」を確立するために、<u>お互いの立場を尊重した上で</u>の建設的議論を通じて、減農薬などの使用を一層促進しながら、佐潟の環境を少しでも良い方向に持って行く事が求められています。</p> <p>このままの水質悪化の状態が続いた最悪の場合、ラムサール条約湿地自治体認証を返納しなくてはならない状況となりかねません。次回に持ち越さず、早急に協議会委員の増員の決議を求めます。</p>
その他	
付属資料の有無	有

※なお、枠が不足する場合は、適宜枠を広げるか別紙等で記載ください。